

# 設立趣意書

現在、我が国では7人に1人が貧困状態となっています。学費を稼ぐためにアルバイトをしなければならず学業に専念できない子どもがいます。アルバイトをしたお金が親の生活費になっている子どもがいます。朝から何も食わずに学校で過ごしている子どもがいます。

そのような状況は、経済的な貧しさだけでなく、地域から孤立することによる情報の貧困など、困難な状況は複雑かつ見え難くなっています。

将来を担う子どもたちが夢を見ることが出来ない環境に置かれていたら、自己を肯定できずに生きる意味を見失っていたら、人を信じられず人との繋がりを拒絶していたら、そんな社会に未来はあるのでしょうか。

生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープは、「生命(いのち)を愛(いつく)しみ、自立と協同の力で、心豊かな地域社会を創り出します」という理念の下、第7次中期計画で、「高校生対象の奨学金制度の導入、子ども食堂やフードバンク活動など社会貢献事業への支援を行います。」として、組合員と共に学習と論議を重ね、生活協同組合として何ができるのかを検討し、2016年には奨学金問題の解決に向けた署名活動を実施、地域の中で支援をおこなっている様々な団体への物資の支援などをおこなってきました。

この財団は、設立者である生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープが、この国が抱える貧困問題などに主体的に関わり、奨学金の給付にとどまらず多面的に取り組むことにより、その課題解決に向けて少しずつでも進むことを目指します。

子どもたちが将来に希望を持ち、社会の中で自分らしい生き方を実現するための学びや体験の機会を、地域で活動している人、団体、行政、そして当組合の組合員、パルシステムグループの仲間などと広く連携・協同してつくり、応援することを目的に、一般財団法人神奈川ゆめ社会福祉財団を設立します。

2018年1月13日

設立者 生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ